

ViCount Compact 取り扱い説明書

この度はコンセプト・スモーク・マシンをご購入いただきありがとうございました。
機器を安全にご利用いただくためにも使用する前によくお読みください。

注 意

- 1 機器の破損及び事故の原因ともなりますので、指定の炭酸ガス・ボンベ以外は使用しないでください。
- 2 オイルは指定オイル（シェル オンジナ オイル 15番）のみを使用してください。指定以外のオイルを使用するとスモークが正しく生成されないばかりでなく、故障の原因となります。
- 3 機器は常に垂直に立て使用し、炭酸ガス・ボンベ（レギュレーター）と本体を接続するホースなどにねじれや余分な負荷がかからないようにしてください。
- 4 ダクト・ホースを使用する際は、ダクト用アダプターを使用してください。ダクト・アダプターはコンセプトからも発売されています。
- 5 風通しの良い場所でご使用ください。閉じられた場所で使用する場合は、換気を十分に行うようにしてください。
- 6 炭酸ガス・ボンベやレギュレーターの扱いは十分に注意し、使用後は適切にバルブを閉じてください。
- 7 使用後は本体内部に残ったオイル成分を気化させるために、しばらくの間電源を入れたままにしておいてください。
- 8 使用管理者を必ずおき、不用意に管理者以外の人に触れられないように注意してください。
- 9 本体の周りは十分な空間を空けるようにしてください。

仕 様

| | |
|----------|---------------------------------|
| 寸 法： | 180W×370H×410Dmm（ネジ、プラグ等の突起含まず） |
| 重 量： | 12Kg |
| タンク有効容量： | 1.3L |
| 最 大 出 力： | 8.2bar（120psi） |
| 最 適 出 力： | 6.9bar（100psi） |
| 連 続 出 力： | 約40分 |
| 消 費 電 力： | 110/120V、11A |
| | *psi：Pounds per Square Inch |

備 考： ViCount Compactにはいくつかの仕様が用意されていますが日本国内では“1300/1.1kw”という仕様のもののみを発売しております。

準 備

- 1 すべてのスイッチがオフになっていることを確認してください。
- 2 ガラス窓からオイル・タンクにオイルが入っているかを確認してください。オイルをあふれさせたり、入れ過ぎたりしないように注意してください。オイル・キャップがしっかり閉まっていることを確認してください。なお、オイルは必ず専用のもののみを使用してください。
- 3 化学作用をおこさないガスを使用しているかを確認してください（日本国内では炭酸ガスが一般的ですが窒素ガスの使用も可能です）。ボンベに適したレギュレーターを使用してください。圧力調節バルブをゼロにしてボンベのバルブを開けてください。ガス・ボンベの圧力が表示されます。27bar（400psi）が使用する際の最少適正值です。付属のレギュレーターを使用する場合は約2.7MPaとなります。
- 4 電源容量の適したコンセントに接続してください。

使用方法

- 1 電源容量の適したコンセントに電源を接続し、電源スイッチをオンにします。赤のLEDが点灯し、デジタル・ディスプレイが表示されます。
- 2 3、4分後、READYインジケータ（緑のLED）が点灯します。安定した動作を得るために、使用する10分ほど前に通電されることをお勧めします。
- 3 炭酸ガス・ボンベ（レギュレーター）を本体に接続し、レギュレーターの出力バルブにて圧力を4 bar（58 psi）にしてください。付属のレギュレーターを使用する場合は約0.4 MPaとなります。
- 4 スモーク・スイッチをオンにしてください。スモークの量はガスの圧力の上げ下げで調整ができます。
* 重要 * : 破損の原因となりますので最大使用可能圧力を超えないようにしてください。
8.2 bar（118 psi）、付属のレギュレーターを使用する場合は約0.5 MPaまでとなります。
- 5 スモークを止める時は、スモーク・スイッチをオフにしてください。本体内部のガスが全て出力されたのち、オイル付着物をきれいに取り除いてください（本体がまだ熱い状態なので十分に注意して作業を行ってください）。内部のオイル成分を全て気化させるために数分の間電源を入れたままにしておいてください。
- 6 使用が終了したあとは、レギュレーターの圧力調節バルブをゼロまで緩め、ボンベのバルブをしっかりと閉めてください。電源スイッチをオフにし、電源を外してください。
なお、使用しないときは必ず電源コンセントからの接続を外しておいてください。

リモート操作

ViCount Compactはリモート操作が可能となっています。付属のリモート・ケーブルを本体の専用ソケットに接続するとスモーク・スイッチと同じ働きを離れた場所で操作することができます。なお、リモート操作のときは本体のスモーク・スイッチをオフにしておく必要があります。

ダクト・ホース延長

もし、ダクト・ホースからスモークを出す場合、ダクト用アダプターを使用しなければなりません。ダクト・ホースをスモーク・マシン本体に直接取り付け使用することはできません。また本体の噴出穴は絶対にふさいではいけません。固定設備の場合は送風機（ジェット・ファン）の使用をお勧めします。

熱遮断（Thermal Cut Out/T. C. O.）

ViCompactには熱遮断装置がついています。なんらかの理由で本体が過熱した場合は熱遮断装置が働き、すべてのヒーターとデジタル・モジュールの電源がオフとなります。

もし熱遮断装置が作動した場合は電源ケーブルを抜いた後に、本体両側のパネルを外し、ヒート・エクスチェンジャー上のボタン（サーモ・スイッチ）を押してください。熱遮断装置の作動による場合は、ボタンを押すとクリックして機能が復旧されます。このときデジタル・モニターに温度が表示されますが、もし温度が400℃を超えているようでしたら、ただちに電源を切り、使用を取り止め弊社までご相談ください。なお、温度が400℃以下で安定し、異常なく使用できるようであれば特に問題はありません。また、熱遮断装置がたびたび作動する場合は使用を取り止め弊社までご相談ください。

スタンドパイプの調整

スタンドパイプの調整によってスモークの粒子の濃淡を変えることができます。これによってスモークにバリエーションを持たせることができます。本体両側のパネルを外すとスタンドパイプが見えます。このスタンドパイプの調整ネジを回すことによってスモークの調整ができます。調整ネジを左に回すとスモークは薄くなり、右に回すとスモークは濃くなります。なお、スモークを濃くする場合は、濃くし過ぎないように注意してください。最適のポジションは“乾いた”感じのスモークになるようにすることです。

運 搬

運搬するときは本体からオイルを排出してください。そのための排水プラグが本体下部に装備されています。

メンテナンス

通常の使用においては特別なメンテナンスは必要ありません。しかしながら、機器を快適にご使用いただくため、以下のことを日常のメンテナンスとしてください。

また、内部の断熱材は使用によって劣化することは避けられません。長期間ご使用頂くためにも1年に1回は定期点検に出されることをお勧めします。

- 1 ノズルやノズル周りをきれいにしておくようにしてください。

スモーク・マシンの故障原因の多くがノズルの詰まりによるものです。使用の頻度にもよりますが、月に1度はノズルのクリーニングを行うことをお勧めします。クリーニングは直径2mmのドリル・ビットを使用し、ノズル内部から外側にていねいにかきだすようにしてください。ノズルの深さは約25mmです。このとき、溜まったカーボン（すす）を内部に押し込まないように気を付けて作業を行ってください。また、ドリル・ビットは細いので内部で折らないように十分に注意してください。内部で折ってしまうと取り出すことができず、ヒート・ブロックの交換が必要となってしまいます。

- 2 本体のカバーを外し、すべての接合部分がしっかり締まっていることを確認し、付着しているオイルやほこりなどをふきとってください。

その他ご不明な点につきましては弊社までお問い合わせくださいますようお願いいたします。